様式３(2020.08改)

作成日　令和2年12月5日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101192
事業所名	グループホーム縁

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	町内出身の利用者が多いことから、地域と日常的な交流や連携が行われていたが、コロナ禍によってそのほとんどが中断を余儀なくされている。 制限された中ではあるが、、ボランティアの理美容は玄関先で利用者の髪を整え、舞踊集団は芝生の庭で利用者を楽しませてくれる。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	市の方針に従い、3月開催の運営推進会議から書面会議の形をとっている。 ホームの状況や利用者の様子を記載した議事録を作成し、会議メンバーがホームに議事録を取りに来ている。その折に、様々な意見交換を行っている。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	ホームと市役所とが至近距離にあり、何か問題があれば直ぐに訪問して対応できる関係である。 管理者が市のグループホーム小部会の主要メンバーであり、市と調整しながら小部会を運営している。コロナ禍によって休会になったこともあるが、2ヶ月ごとの小部会が継続開催されている。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	地域出身の利用者が多いことから、面会を求めて来訪する家族は多い。対面しての家族面会は認めていないが、ベランダでのガラス越しの面会を認めている。 内容の濃い「縁だより」を毎月発行し、ホームの取組み(コロナ禍対応のホーム内行事等)や利用者の近況を家族に伝えている。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

市の方針に従い、3月開催の運営推進会議から書面会議の形をとっており、現時点では通常開催の目途は経っていない。
ホームの状況や利用者の様子を記載した議事録を作成し、会議メンバーがホームに議事録を取りに来ている。その折に、様々な意見交換を行っている。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										